



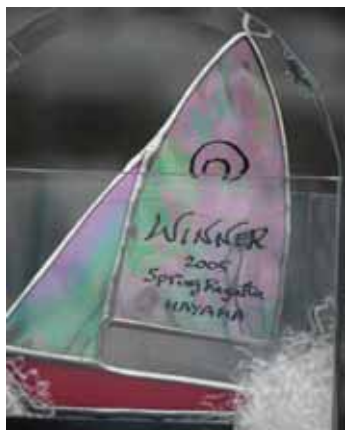
Spring Regatta 2005, Hayama
Photo by Miyashita

2005年度イベントスケジュール

TASAR OF THE YEAR 2004・表彰

【公示】西日本選手権

テーザーワールド開幕 **日本から10チームが
ダーウィンへ出発!**



スプリングレガッタ

連載 **スマートレースのススメ ④**

WORLD TOPICS 《海外情報》

編集後記



巻頭言 ゴミ回収のお知らせ

会長 本吉謙治

愛知万博、「愛・地球博」が開催されているところです。テーマは「自然の叡智」。地球温暖化、環境破壊といった、人類が解決すべきこれらの大きな問題に対して、現代を生きる私たちがどのように取り組んでいったらよいのかを考え、将来のあるべき姿を示す博覧会です。

地球が抱える様々な問題は、自然という土俵の中でヨットを操り楽しませてもらっている私たちセーラーにとっても、身近な問題であるといえます。そこで、JTAとしてもJSAFのすすめるエコキャンペーンに呼応して、協会公式イベントにおきまして、年間を通じて環境問題を取り上げてゆきたいと考えています。手始めに、先に開催されたスプリングレガッタでは、帆走指し書に「レース中にゴミを投棄した艇は失格となる場合がある」旨の記載をし、スキッパーズミーティングにおいて海上の美化を訴えました。レガッタ

当日、レースが終了しハーバーへの帰り途、早速海上に浮遊していたゴミを回収して戻ってきた参加艇があり、心強く思いました。

もちろん、海を汚さないなどは当たり前のことであって、今更という感じがするかも知れません。また、海に浮かぶゴミを回収したからといって、直ちに汚染問題が解決するわけでもありません。しかし、こうした行動を一人ひとりが実践することによって、その輪が広がり、更に多くの方が環境問題と向き合うようになって、やがては地球の将来を左右することになるかもしれません。

アルピニストの野口健さんはゴミ回収のために何度となくヒマラヤに出向き、これまでに回収したゴミの量は数万トンにも及ぶといえます。彼の活動もまた、自分自身のフィールドである山を掃除することによって、他の登山家をはじめ世界の人たちが地球汚染に目を向けるきつ

かけになれば、と願ってのことであると聞きました。

海は我々セーラーにとってはまさに競技場です。誰も自分たちのフィールドが汚れているのは気持ちのよいものではありません。ましてや、そのゴミがセンターボードやラダーに引っ掛かってしまったら・・・想像したくもありませんよね。そこで提案があります。他人のゴミであっても持ち帰る。すでに実践している場合は、他の人たちに伝えてゆく。一人がひとつずつゴミを拾っても、世界中の人が拾えば70億個のゴミを回収できるのです。

自然の恵みを思う存分に享受し、いつまでも楽しみを分かち合うことができるように、そして私たちが生まれ育った美しい地球を次の世代に伝えてゆくために、自然の一員としての人類が今何をすべきなのかを、セーラーとしての視点から更に考えてみたいと思います。

Events

イベント情報

イベントに関するお問い合わせ

JTA イベント担当 赤井まで
mail: event@tasarjapan.org

日程

イベント名

場所

7/ 1(金) ~ 8(金)	世界選手権	(ダーウィン)
7/16(土) ~ 17(日)	西日本選手権	(芦屋)
8/20(土) ~ 21(日)	ミッドサマーレガッタ	(猪苗代湖)
10/16(日)	オータムレガッタ	(江ノ島)
11/12(土) ~ 13(日)	第20回全日本選手権	(三重県・津)
2006年(日程未定)	ミッドウィンターレガッタ	(稲毛)

いよいよ開幕 テザーワールド2005



7月1日より、いよいよ2005テザーワールドが開幕します。日本からは10チームが参加。レースの様子は下記サイトに随時アップされる予定です。(日本からの参加者はp11のWorld Topics内で紹介しています)

<http://www.tasar2005worlds.org/>

5月末 コンテナへ積み込み

ダーウィンワールドに向けて日本から参加のテザー11艇のコンテナ積み込み作業が5月22日、稲毛ヨットハーバーで行われた。積み込み用のPPバンドやスタイロフォーム、エアパックなどの梱包用資材も前週までに準備し、午前10時には11チームが稲毛に集合。午前中は各艇ごとに積み込み準備を行い、スパー類をエアパックでくるんだり、スタイロフォームを貼り付けたりしてコンテナ車の到着を待った。

午後1時前にコンテナ車がヨットハーバーに到着。ところが、駐車場に駐まっていた1台の外来車が障害となって、コンテナ車の進入が大苦戦。何度も切り返してようやく作業エリアに到着。40フィート車はやむなく駐車場で積み込みとなった。

今回は40フィートコンテナに8艇、20フィートコンテナに3艇の積み込みで、全艇分の船台の他、自転車4台も持ち込むというゆとりの積み込み。通関書類のATAカルネに事前に申請した積み込み品リストと照らし合わせ荷物の個数をチェックしながら積み込みを行った。

艇体はコンテナの天井と壁面に貼り付けるように積み込み、PPバンドとスチー



ルバックルで何重にも固定し、パウとスターンのガジョンからも振れ止めのロープを取ってしっかりと固定。40

フィートコンテナには天井に2艇、壁面に3艇を積み込む予定だったが、壁面3艇は予想外に苦戦して1艇は床面に積み込むことになった。それでも床面はゆとりがあり、マスト類やフォイル、個人用の荷物を積み込み、最後にセールを積み込んでネットをかぶせ、午後4時半に積み込み作業が終了した。全員で汗だくの作業は少し時間をオーバーしたもののなんとか予定通り完了、最後にコンテナのドアを閉めてシールし、2台のコンテナ車を見送った。

コンテナ積み込み作業にはパフォーマンスの大谷さんも駆けつけ、作業をサポートしていただいた。積み込みが終わってコンテナ車を送り出した直後に雨が降り始め、絶妙のタイミングにみんなで胸をなで下ろした。

コンテナは5月24日、東京・大井で通関して輸出許可となり、26日にコンテナ船 "MOL PRECISION" V-022W に積み込まれ27日東京港を出港した。6月3日には経由地のシンガポールに到着し、ダーウィン行きの船に積み替えて6月中旬にはダーウィンに到着の予定。(6月4日 金子文雄)

次回テザーワールドに関する 緊急情報



ポストダーウィンとなる2007年ワールドですが、オランダのコンスタンティン・ウド氏の強い要望により、本来の開催国であった日本がこれを譲る形でヨーロッパでの開催が決定していました。2001年和歌山全日本の時に開かれた総会の席で、ウド氏から挨拶があったことを記憶されている方も多いのではないかと思います。

ところがこの件に関し、ウド氏からヨーロッパで開催することができなくなったとの回答があった旨、ワールドテザーカウンスル(WTC)のセクレタリーであるリチャード・スペンサー氏から連絡が寄せられました。その連絡の中でリチャード氏は本来の順番に戻して日本で開催してもらえないかと非公式に打診をしてきました。ダーウィンワールドへ出発を前に、余すところ2週間しかない中での連絡であるため、JTAとしては具体的に対応する術もありませんが、当然ダーウィン

で開催されるWTCミーティングにおいて、WTCからJTAに対し正式に開催を依頼されることが予想されます。

まずは、これまでの経緯を確認したうえで判断をしてゆきたいと思っています。

本来であれば11月の総会で話し合いの上決議したいところですが、もし日本で引き受ける場合時間との勝負となります。幸いダーウィン大会にはJTA理事の過半数のメンバーが参加しますので、現地で臨時理事会を招集しその場で答えを出すことがあるかもしれません。

会員各位におかれましては事情賢察の上、前もって了解を頂きますようお願い致します。

会長 本吉謙治

TASAR OF THE YEAR 2004

最優秀選手賞は2年連続で関口真秀さんが受賞

スプリングレガッタのパーティーで2004年のTASAR OF THE YEARの表彰がおこなわれました。年間を通じて日本テザー協会が主催する公式レースに於いて、最も優秀な成績を修め、かつ最も協会イベントに貢献した者に対して贈られる最優秀選手賞は、2年連続で葉山フリートの関口真秀さんが受賞しました。



吉川初代会長と最優秀選手賞の関口さん

この日は吉川初代会長も賞の授与のため駆けつけてくれました。『吉川賞』とでも言うべき最優秀選手のトロフィーは、日本にテザーを導入し発展に努めてくださった吉川初代会長が、昨年JSAF(日本セーリング連盟)功労者賞を受賞された際に授与された銀杯を冠にあしらい、特別に制作されたものです。吉川さんのご厚意により、今年から持ち回りのトロフィーとして毎年の最優秀選手のもとに回ることになりました。今後とも多くの仲間に支えられてテザークラスが発展していくようにとの願いも込められています。

2004年度の皆勤賞は葉山フリートの山本さんと中島さんが受賞しました。



皆勤賞 山本/中島チーム

西日本選手権のご案内

Notice

レース公示

2005 年度も昨年同様、奈良県連のご協力を得て「2005 シルクロードヨットレース」に参加させて頂く形で開催の運びとなりました。
ただ今オンラインエントリー受付中です。皆さん奮ってご参加ください。

実施要綱

- 主催： 日本テザー協会
(奈良県セーリング連盟、奈良県教育委員会)
- 日程： 平成 17 年 7 月 17 日 (日)
09:00 ~ 受付・出走申告
09:30 ~ 艇長会議
10:55 予告信号(予定)
第 2 レース以後は前レース終了後ただちに実施
- 場所： 芦屋マリンセンター 芦屋市浜風町 30-2
TEL 0797-32-2255 FAX 0797-32-2256
レースエリアは芦屋浜沖に設定。コースはトライアングルとする。
- 参加資格： 乗員のうち少なくとも 1 名が 2005 年度テザー協会会員であること(当日手続き可)
- 適用規則： 国際セーリング競技規則 2005 - 2008、日本セーリング連盟規程、本実施要項、帆走指示書、テザークラスルール。ただし 2005 年度に国内で開催する大会ではテザークラスルール C.6 を適用しない
- 参加申込： 協会ウェブサイトよりオンラインエントリー
<http://tasarjapan.org/events/events.html>
または、必要事項を下記申込み先にメール、または FAX で送付
【申込先】
メール：芦屋フリースト 渡辺
ashiya@tasarjapan.org
FAX：芦屋フリースト 安澤 06-6655-3644
- 申込締切： 平成 17 年 7 月 8 日 (金) 必着
- 参加料： 1 艇 5,000 円 当日徴収する。
- 賞： 1 位 ~ 3 位に賞を授与する。
また、その他の賞を用意する場合があります。

その他の情報

懇親会のご案内

7 月 16 日(土)、有志により懇親会を予定しております。梅田駅周辺で、午後 5 時半頃からを予定しております。
参加希望の方は、人数をエントリー時にお知らせください。
会費は 4,000 円 ~ 5,000 円の予定。
【当日の連絡先】 芦屋フリースト 安澤 090-3716-9755

外来艇持込について

艇の持込料は 1 艇あたり 1 日 750 円です。大会当日の受付時に徴収します。土曜日に搬入した場合、帆走してなくても持込料が発生しますのでご了承ください。

当日の受付

シルクロードヨットレースの受付とは異なりますのでご注意ください。

マリンセンターの利用について

当日はシルクロードヨットレース以外にもレースが予定されており、ハーバーの混雑が予想されます。車、荷物、艇の整理整頓、管理にご協力をお願いします。
当日のマリンセンターの開門は午前 8 時半の予定です。
7 月 16 日(土)の夜間、マリンセンターに車を置かれる方は、当日安澤までその旨をお伝えください。夜間駐車の数をもとめてマリンセンターに連絡しますので許可証を車内に掲示してください。閉門に支障をきたす恐れがありますのでご協力をお願いします。
閉門時間後の夜間の立ち入りはできません。

〈 関連サイト 〉

兵庫県立海洋体育館(芦屋マリンセンター)

<http://www.pure.co.jp/~kaiyou/>

Racing

レース情報



スプリングレガッタ 稲毛勢善戦、田中夫妻が優勝

Apr. 30-May.1, 2005 Hayama Photo by Miyashita

シーズン幕開けとなるスプリングレガッタは好天に恵まれ、葉山の安定した南寄りの風の中、順調に6レースが行われました。3度のトップフィニッシュを果たした稲毛の田中夫妻組が優勝し、2位に葉山の小松・本吉・小川組、3位には稲毛の金子夫妻組が入りました。

スプリングレガッタレポート

葉山フリート 小川 雅

—— 年前からTasarをはじめ、デラマンチャヨットクラブの小松さんと一緒に乗っている小川です。本職は学連の470(東工大ヨット部)で、今回のスプリングレガッタは学連のインカレの合間を見計らって参加させていただきました。

今レガッタはレガッタとして勝ちに行くのではなく、あくまで世界選手権に向けての最終調整であり、「1レース1レースやれることをやるだけ」という意識で臨みました。

初日の30日は学連のインカレの予選がありまして、自分の代わりに本吉夏樹くんが小松さんと出場しました。夏樹くんは学連では文句なしの実力で自分にとっては雲の上の存在であり、予想通り総合2位という好順位で1日目を折り返してきました。「あとは頼みますよ」という夏樹くんのプレッシャーを受けつつ、小松さんと自分のレースが始まりました。

自分たちの船は普段たった1艇での練習が多く、スタート



練習が不足しており課題でした。それゆえ1レース目は1上まで左のコースをうまく引かせてもらえず、1上では9位。しかし今回はミッドウィンターの時とは違い、順位を着実に上げていく展開ができたのです。フリーの走りも本当に順調

で、藻との格闘の末6位Finish。とはいえ上レグで一度抜いた艇に抜かされたケースもあるなど反省点もありました。自分は他艇のマークが甘く、タクティクスが未熟だということが実感できたのです。

そして第五レース。このレースが自分のヨット人生において最高のメモリアルレースになるとは夢にも思いませんでした。1上は3位で回航。そこからの展開が本当に良かったです。TOPでFinishすることなどは全く考えず、ただただ1つ1つの場面を大切に

して「やれることをやる」に専念できました。TOPでのFinishは初めての経験だっただけにその興奮は抑えられるものではありませんでしたが、頭には次のレースのことがありました。

最終レースも3位を常にキープし、終わってみれば総合2位という上々の成績でレガッタを終えることができました。レガッタを終えたとき、自分たちがやってきたことは間違っていなかったということの小松さんと再確認し、Worldへ向けて大きな自信を得ることができました。本当に嬉しかったです。

こんな素晴らしい日を迎えられたのもデラマンチャの皆さんや東工大ヨット部のみんな、それからヨットに理解のある両親をはじめ支えていただいた皆さんのサポートのお陰です。

これからもヨットの技術や精神力を養うために、またヨットレースを楽しむためにTasarのレースにどんどん参加させていただきたいと思います。よろしくお願い致します。

スプリングレガッタに参加して 稲毛フリート 池内 敏

テ ザーを始めて丸2年。始めたきっかけは舵に掲載されていた稲毛でのテザー全日本の記事でした。

ディンギーに乗りたいたい！と思ったのはいいのですが、艇種、クルーも決まっておらず、ただディンギーに乗りたいたい！の考えだけで艇種を探していました。舵に乗っていたホームページを見てテザーフォーラムで出会った船が今の船です。実は艇種を決めて、今の船を購入してからクルーを探しました。それがこんなにもうまく続くとは・・・自分でも予想しなかったです。

今ではこの選択がものすごく正しかったと思います。楽しい仲間と艇種に出会えて幸せいっぱいです。

ただ、なかなかレースではうまく走ることができず、1上の順位を守れないことが多かったり、重量ペアであるのに強風でスピード負けをしたりと、やきもきすることが多かったです。やっと最近では少しまともになってきたのかなと思っています。

それと毎回レースで重大なミスがあり、今回のスプリングレガッタでは、そのミスだけは絶対にしないと！と目標を決めていました。

私はテザーを始めだしてからしょっちゅうリコールまたはブラックを出して、スコアにまとまりがありませんでした。



た。今回からは文字なく安定した成績を刻むと決めて望みました。スピードに自信がないと、スタートで果敢に攻めてしまう。心のゆとりがなくなる。リコールする。この悪循環です。最近の練習でややスピードが出てきてレース中の心のゆとりが出てきたように思います。それが今回のレガッタは通じて軽風から順風でしたが、ある程度安定した順位を刻むことができた要因かもしれません(もちろん文字もありませんでした)。

それと今まで苦手だった軽風がある程

度うまく走れたことにあるのかもしれませんが。我チーム、稲毛フリート内はもちろんのこと、全国でも重量級に属するコンビです(140キロ超級)。課題は軽風。今回ちょっとわかった軽風の考えを皆さんの参考になればと記載させていただきます。(ワールドは軽風が多い海面らしいです)

艇は軽いほうがいい
やっぱり艇は軽いに限りません。少しでも余計な艀装、持ち込みは避けましょう。

軽風では風の振れよりもブローを優先する。
順風になれば振れ優先でコースメイクをしますが、軽風だと艇を進めるのが第一優先になる。艇が進まないと自由にコースメイクをできない。

ヘルムスマンはテルテールに集中する。

常にテルテールに集中。減速しないためのコツは、常に風に対して正しいセールトリムに乗ること。

軽風に苦手意識を持たない。
これは今でも払拭できていませんが軽い船でも軽風は難しい、結局は気持ちの持ちようはどの船も同じ。

まもなく開催されるワールドでは今回確認できたことを実践し、気持ちよくコバルトブルーの海を堪能したいと思っています。

2005年度 スプリングレガッタ

2005年4月30日～5月1日 葉山

Pos	Sail No.	フリート/ 水域	スキッパー	クルー 1	クルー 2	1R		2R		3R		4R		5R		6R		Total	Cut	Net
						着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点			
1	2765	稲毛	田中 郁也	田中 紀子		5	5	1	1	1	1	1	1	2	2	4	4	14	5	9
2	2761	葉山	小松 充	小川 雅	本吉 夏樹	8	8	3	3	2	2	6	6	1	1	3	3	23	8	15
3	2676	稲毛	金子 文雄	金子 ルミ		2	2	BFD	31	4	4	2	2	3	3	10	10	52	31	21
4	2670	芦屋	内村 祥史	安澤 厚男		6	6	6	6	3	3	3	3	4	4	5	5	27	6	21
5	2736	稲毛	池内 敏	米倉 和宏		7	7	4	4	7	7	5	5	7	7	1	1	31	7	24
6	2395	葉山	本吉 謙治	関口 真秀		4	4	7	7	5	5	8	8	8	8	2	2	34	8	26
7	2669	稲毛	平生 純一郎	平生 玲子		1	1	2	2	DNS	31	11	11	6	6	7	7	58	31	27
8	2593	稲毛	井上 誠一	亀山 寛達		10	10	5	5	6	6	21	21	12	12	14	14	68	21	47
9	2396	葉山	山本 晴之	中島 玲子		9	9	BFD	31	RDG	8.5	15	15	11	11	6	6	80.5	31.0	49.5
10	2768	葉山	久礼 嘉伸	金子 直樹	渡辺 さおり	18	18	10	10	9	9	16	16	5	5	11	11	69	18	51
11	2565	---	小林 通博	及川 慎太郎		BFD	31	11	11	10	10	14	14	10	10	8	8	84	31	53
12	2730	稲毛	宇佐美 重則	小田倉 里美		3	3	DNF	31	14	14	4	4	16	16	18	18	86	31	55
13	2657	浜名湖	長谷川 勝啓	有木 洋介		12	12	15	15	8	8	13	13	13	13	12	12	73	15	58
14	2621	葉山	山下 栄輝	島中 けいこ		24	24	12	12	15	15	12	12	15	15	15	15	93	24	69
15	2671	葉山	小林 昌弥	内田 勝久		19	19	13	13	12	12	18	18	9	9	22	22	93	22	71
16	2762	江ノ島	赤井 寛	赤井 明日香		11	11	9	9	DNF	31	22	22	22	22	9	9	104	31	73
17	2470	浜名湖	蜂須賀 強	蜂須賀 通海	武田 桂一	27	27	18	18	13	13	9	9	18	18	21	21	106	27	79
18	2720	葉山	建内 満	岡 誠		13	13	20	20	18	18	10	10	23	23	19	19	103	23	80
19	2706	葉山	石丸 洋次郎	石丸 寿美子		14	14	26	26	25	25	7	7	21	21	16	16	109	26	83
20	2707	浜名湖	白岩 道孝	白岩 恵美子		16	16	14	14	21	21	17	17	19	19	23	23	110	23	87
21	2458	大阪北港	臼杵 辰郎	今井 ゆり子		20	20	8	8	17	17	24	24	25	25	20	20	114	25	89
22	2602	稲毛	田中 真人	田中 聡子		15	15	17	17	26	26	26	26	17	17	17	17	118	26	92
23	2732	江ノ島	星野 直広	安田 貴美子		23	23	19	19	19	19	19	19	14	14	26	26	120	26	94
24	2223	江ノ島	千波 正隆	松川 護	村上 誠一郎	21	21	25	25	22	22	20	20	20	20	13	13	121	25	96
25	2575	葉山	高橋 夏樹	佐久間 祐司		BFD	31	16	16	11	11	28	28	24	24	25	25	135	31	104
26	2675	葉山	安原 実郎	戸田 隆久	山崎 真一	17	17	23	23	16	16	27	27	28	28	DNS	31	142	31	111
27	2609	葉山	田中 剛	多井 堅一郎	荒島 謙治	22	22	21	21	24	24	23	23	27	27	24	24	141	27	114
28	2203	葉山	大橋 武史	宮下 健	伊藤 真人	26	26	24	24	23	23	25	25	26	26	27	27	151	27	124
29	2708	葉山	相馬 大輔	加藤 雅子		25	25	22	22	20	20	DNC	31	DNC	31	DNC	31	160	31	129
30	2294	江ノ島	村尾 隆	津田 展明		DNC	31	DNC	31	DNC	31	DNC	31	DNC	31	DNC	31	186	31	155



優勝 田中夫妻組 (稲毛)



第2位 小松 / 小川 / 本吉組



第3位 金子夫妻組



連載

スマートレースのススメ

第4回 上りレグでの適用ルールについて

Text by Ikuya Tanaka

s.i

ワールドが近づいてきました。今回のエントリーは約130杯、これだけの杯数のレースですから、たとえフリートを分けたとしても、スタート時と最初のレグは相当混雑すると思います。そこで今回は、上りレグでよくあるシーンをいくつか取り上げて、適用ルールを確認したいと思います。

1. スターボ艇、ポート艇のクロスと下受けタック

ポートでスターボ艇の前を切れるかどうかは、その後のレース展開に大きな差を生みます。ポート艇はできるだけスターボ艇の前を切るうとするわけですが、ぎりぎりの場合の見極めは難しく、いける！と思っても下受けタックがスターボ艇に切り替えることはよくあります。ここでは、下で受けるときの適用ルールを確認しておきます。

下タックで受けるとき、ポートクローズから風位までは当然ポートタックですので、規則10によりスターボ艇を避ける必要があります。また、風位を越えてからクローズホールドのコースになるまでは、規則13により他の艇を避けなければなりませんので、タックを完了するまでは航路権はありません。

タックを完了すると、この船は避けようとしたスターボ艇に対し下艇となり、航路権が移行し、航路権を新たに取得することになります。この場合には規則15により相手艇に対し、初めに避けるためのルームを与えなければなりません。上艇はタックしている船が下艇となることを予測して避ける必要はありませんから、下艇のタックが完了してから避ける行動をとり始めたときに、上艇は避けるための時間的余裕があったかという点がポイントとなります。（注：接触が不可避な場合には上艇は接触を回避し、抗議をすべきです。損傷や傷害があった場合にはペナルティを課せられる場合があります。）

このように下受けタックは十分な余裕をもって打つ必要がありますから、スターボ艇の前を切るかどうかの判断は早めに行う必要があります。スターボ艇のコースを横切り始めてからのタックでは遅すぎます。

2. 上マークアプローチでの下受けタックと

マーク2艇身内の特別ルール

上マークアプローチでの下受けタックの際の留意点は1.と同じです。状況としては下受けに限らず、タック後にクリア・アスターン、クリア・アヘッドの位置関係になることもありますが、相手艇に避けるためのルームを与えるという考

え方は同じです。

次にマーク2艇身以内でのポートアプローチはリスクが高いという話は皆さんご存知だと思います。規則18.3がこれにあたるものです。ポートアプローチをしている船が2艇身ゾーン内でタックを完了した場合、後ろから来ているスターボ艇が、スピード差のためにクローズホールドよりも上側に避けなければならなかったとき（図1）、下側にベアしてマークの廻航ができなかったり、支障が生じた場合（図2）には規則18.3(a)の違反となります。

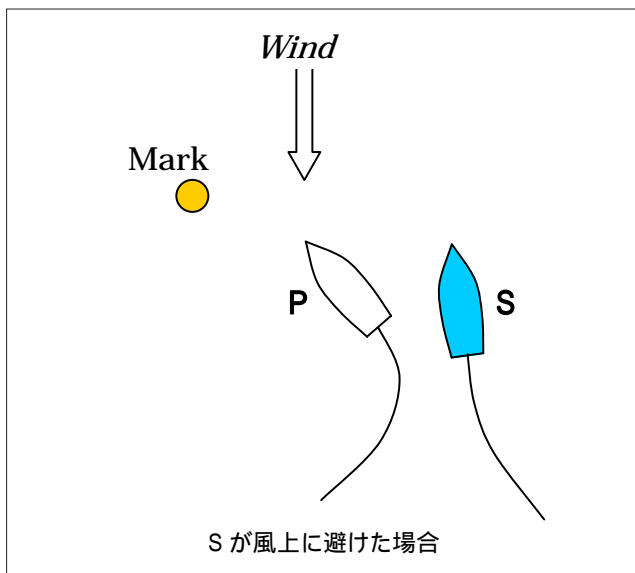


図 1

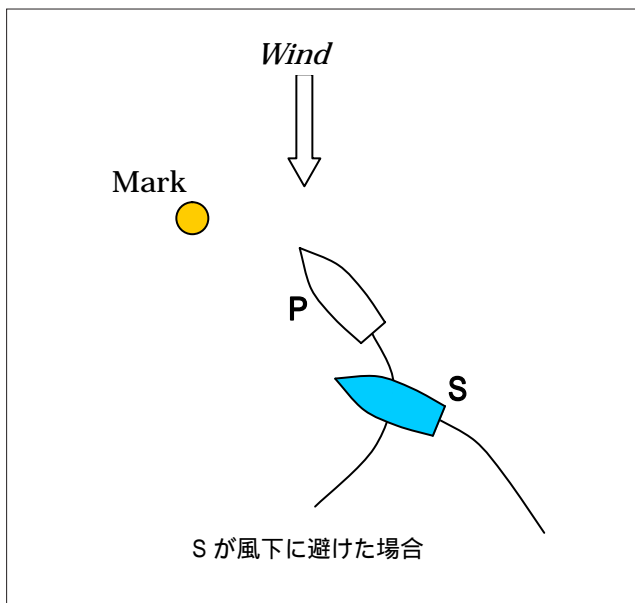


図 2

また、後続艇が下側にオーバーラップした場合には、規則 18.3(b)によりマーク廻航のためのルームを与える必要があります。しかし、相手艇との間に距離が多少あり、タック後にオーバーラップまで至らない状況で、先行艇の乱れた風で相手艇が遅れたとしても、この場合には規則 18.3は関係ありません。(図 3)

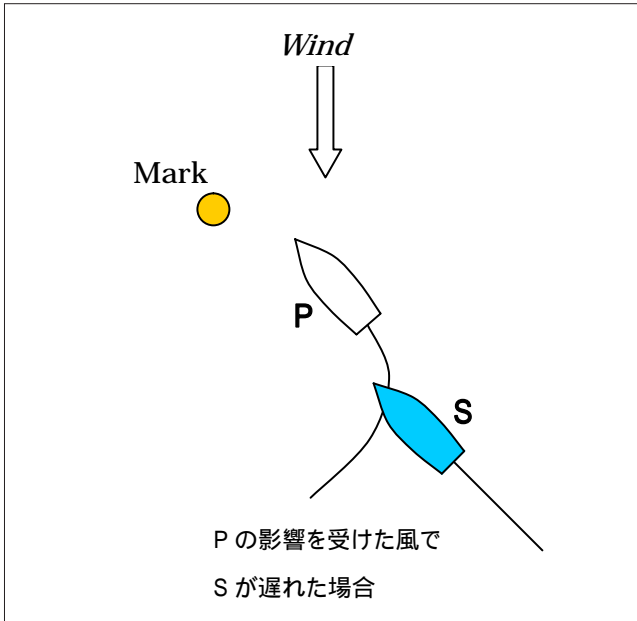


図 3

このようにマークぎりぎりのポートアプローチは混戦状態ではリスクが大きいということです。このルールの適用は2艇身ゾーン内でタックが完了するということですから、アプローチのとり方としては、レイラインから3～4艇身は離す必要があります。

3. スターボ艇をクリアするための障害物タックとスターンクリアするためのルームの要求

ポートタックでオーバーラップして並走している2艇がいて、これらの艇とミートするスターボ艇が接近してきた場合、ポートの下艇にとってスターボ艇は障害物であり、上艇に障害物タックを要求することができます(規則 19.1)。また、ポートの上艇はスターボ艇のスターンをクリアして右海面に行きたい場合には下艇に対しスターボ艇のスターンをクリアするためのルームを要求できます(規則 18.2(a))。(図 4)

ここでは、これらの条件について解説します。まず、障害物タックの要求についてです。まず、障害物タックを要求するためには、障害物を回避するためにコースを大幅に変更する必要がある場合に限ります。ここで、大幅なコース変更の目安としては、Dave Perry氏の解説書によれば10°未満は大幅な変更には当たらないとされています。ですからあまり早い時点からスターボ艇を予測して声をかけることは控える必要があります。また、ミートが浅く、スターンをわずかにベアする程度の場合には、そのスターボ艇は障害物にはあたりません。

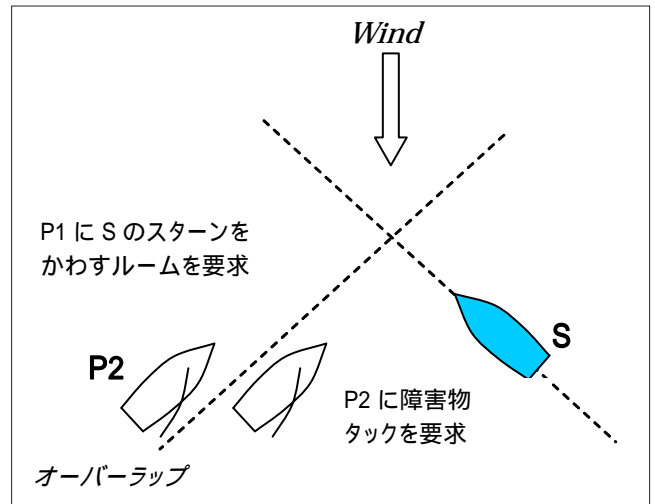


図 4

次に声をかけられた側は、すぐにタックするか、タックせずに相手を避けるつもりがある場合には、「ユー・タック」と応じなければなりません。そうした場合には、声をかけた側は、すぐにタックする必要があり、スターボ艇のぎりぎりになるまで待つとか、方針を変えてスターボ艇のスターンをクリアすることはできません。その場合には上艇は抗議することができます。

一方、上側の艇はマーク廻航時と同様に下艇にスターボ艇のスターンをクリアするためのルームを要求できます。ここで、下艇からは障害物タックの要求が出され、上艇はルームの要求をした場合にはどうなるのでしょうか。この場合には、規則 19.2にあるように、規則 19.1が適用される場合には規則 18は適用されないので、上艇は声をかけられたら、その声に応じる必要があります。

実際のレースでは、時々刻々状況が変化しており、相手艇との位置関係を冷静に把握し、ルールの適用関係を判断するのは大変難しいことだと思います。船が接触した場合だけがケースとなるのではなく、今回触れたように相手艇にルームを与えたか、相手艇が避けたかなどをレース中に冷静に見極める能力は、セーリングの技術と同様に重要なものだと思います。レース中にニアミスした艇との間のことを思い出すなどして、ルールの適用関係を考えることは大変勉強になると思いますのでお勧めします。



田中 郁也 Ikuya Tanaka

A級ジャッジ
ナショナル・レースオフィサー
福岡県出身 昭和39年11月3日生まれ

県立修猷館高校時代FJ級でヨットを始める。(インターハイ同期には、プロセーラーの脇永達也さん、単独世界一周をした今給黎教子さんなど)。大阪大学体育会ヨット部では470級インカレ団体戦3位。1993年9月に2572を購入し、妻紀子さんとテーザーを始める。全日本93、95、96、01、03、04年優勝。世界選手権94年Brixham7位、96年Gorge18位、99年浜名湖2位、01年Whitstable23位。

テザーワールド 2005 開幕！！

日本から 10 チームが遠征中

いよいよテザーワールド 2005 がオーストラリア・ダーウィンにて開幕します。日本から参加する 10 チームの活躍が期待されます。

【レース日程】	6/30 (木)	12:00-16:30	早期登録・計測	7/4 (月)	第2日目	最大3レース
	7/1 (金)	09:00-16:30	登録・計測	7/5 (火)	第3日目	最大3レース
	7/2 (土)	09:00-13:00	登録・計測	7/6 (水)	第4日目	レイデイ 予備日
		14:00	招待レース	7/7 (木)	第5日目	最大3レース
	7/3 (日)	第1日目	最大3レース	7/8 (金)	第6日目	最大2レース 表彰式 (13:00 以降の予告信号はない)

艇番号：2395

艇名：MIRACLE PORGY

スキッパー：本吉讓治(7回目?)

クルー：関口真秀(3回目)



目標・抱負：今回関西地区からの参加がなく非常に残念です。個人的にはレースもさることながら WTC ミー

ティングは次回ワールドの件を含めて日本を中心とした議論となりそうで準備に追われています。そうはいつでも熱帯で開催される初めてのワールドです。おもいっきりトロピカルブリーズを満喫したいと思っています。

艇番号：2761

艇名：Strawberry Shake



スキッパー：小松 充(5回目)

目標・抱負：なんとか、賞を取ろう！と、早々とエントリーしましたが(129艇中7番目)、早期エントリー賞を逃してしまいました。最初の目標は難しくなったので、後は最後まで存分に楽しんで来ようと思います。学生でテザーを始めて、学生の時に2度のワールドを体験しましたが、今回は、クルー小川くん(大学4年生)にも、テザー

ダーウィンワールド チーム紹介 (エントリー順)

とワールドにハマってもらおうと思っています。

クルー：小川 雅(初参加)

目標・抱負：今回のテーマは「どこまでいけるか、どこまで遊びきるか」です。「どこまでいけ

るか」ということに関してはもう難しいことを考えず、とにかく1つ1つのレースでベストを尽くすのみ。「遊ぶ」という方もホームステイや大会後のオーストラリア縦断旅行など、とにかくオーストラリアを満喫してこようと思います。

艇番号：2765

艇名：Kai Ona

スキッパー：田中郁也(5回目)

目標・抱負：船を送り出し、ワールドまで3週間。目標としてきた大会が近づいてきて、わくわくするが、練習もあと少しで終わると思うと少しさみしい気もする。ダーウィンの海を想像して、レースのことをイメージすると緊張感と昂りを覚える。これまでのどの大会よりも入念な準備をしたつもりなので、テザーの本場で思いっきりワールドを楽しんできたい。目標：ワインにおぼれないこと！

クルー：田中紀子(5回目)

目標・抱負：マウイ島のカマラパーク前に、Kai Ona Cafe(カイオナカフェ)という、小さいながらも素敵なカフェがあります。Kai Ona というのは、ハワイ語で「海



(kai)の香り(onaona)」という意味だそうです。幸せな時間を分けてもらった場所から、艇の名前をいただきちゃいました(無断拝借なんですけど)・・・

さて、テザーを始めて12年。やっとクルーとしての動きに自信がついてきたところです。一昨年来、稲毛フリートのいろんなタイプのチームと練習ができましたし、この半年は、スキッパーと一緒にチームの弱点を補正する努力をしてきました。また、地道に体力トレーニングも続けてきました。この積み重ねを自信に変えて、Kai Ona君をスムーズに走らせたいと思います。

目標：自信をもって納得のいくレースをする！



艇番号：2768

艇名：MegaPtera



スキッパー：久礼 嘉伸(2回目)

目標・抱負：イギリスのWhitstableが初出場で今回で2度目の出場です。前回はチャーター艇で今回は新艇も購入したということでWhitstableのときの35位以上を目標に頑張ります。130艇のビッグフリートレース、楽しんできます！！

クルー：渡辺さおり(初参加)

目標・抱負：スキッパーとケンカせず、楽しく前を帆走ること。



艇番号：2669

艇名：LaFesta



スキッパー：平生純一郎(初参加)

目標・抱負：夫婦でヨットを始めたときは、考えてもい

なかったワールド。ダーウィンはあまり風が吹かないから、という甘い言葉に乗せられ、先日船を積み込みました。もう後戻りできない状況のつい先日、2年半前江ノ島の練習会で初めてテザーに乗せていただいた葉山の某氏に「吹かないわけないじゃーん、吹かないとオージーは陸上で待機だから」と言われ、不安が募る今日この頃です。まァ、結婚してから夫婦で始めたヨット、ワールドに出られること自体夢見たいな話ですから、風にも負けず頑張りたいと思っています。目標は、常におおらかな気持ちで、夫婦仲良く成田へ降り立つことです。あと英語・・・。絶対言いたい一言、「Rooooooooooooooooooooom！」

クルー：平生玲子(初出場)

目標・抱負：ヨットに乗り始めて丸2年、まさかワールドに参加できるとは思いませんでした！未経験の連日のレースについていけるか不安もありますが、楽しみです。オーストラリアの青い海で、「お祭り」気分楽しくセーリングができるといいです。初海外遠征でわからないことだらけですので、みなさまよろしく願いいたします！



艇番号：2593

艇名：しづき



スキッパー：亀山寛達(2回目)

目標・抱負：奥さんとの参加を予定しておりましたが、コウノトリさんの訪れであやうく参加断念という事態まで追い込まれました。宮本さんが思い切った理由で会社から長期夏期休暇をゲットしてくれて、今回の遠征が実現しました。「参加することに意義がある」ということがモットーではありますが、1レースづつうまくなり、終盤にはダークホースとして活躍できることを密かに期しております。

クルー：宮本哲生(初出場)

目標・抱負：亀山さん誘ってくださってありがとうございます。奥さんの真奈美さん大変おそれいます。初めてのワールド参加なので、せっかくのチャンスいい体験をしてきたいと思っています。即席のコンビですが、相性はばっちりですので、落ち着いていい結果が出せるようにがんばれたらと思っています。

艇番号：2762

艇名：Kurumba



スキッパー： 赤井 寛（初参加）

クルー： 赤井明日香 + 3名（初参加）

目標・抱負： 家族連れenjoy 遠征&早目の夏休み気分です。Safety Sailingで毎日楽しみたいと思っています。ただ、まったく初めての体験ばかりなので、一緒に行く日本チームの皆さんだけが頼りです。よろしく願いいたします。(私は長丁場のレースに体力が持たないかもしれません・・・(^))



艇番号：2676

艇名：SCOOP CHANCE



スキッパー： 金子文雄（7回目）

目標・抱負： レースだけでなくソーシャルイベントや海外旅行も含めてワールドをトータルで楽しむつもりです。心にゆとりを持って、グランドマスターらしいレースをエンジョイしたいと思っています。今回のスローガンは前回と同じく「笑顔でフィニッシュ」です。準備が十分とは言えませんが、「テザー再発見」のつもりで、まだまだ奥の深いテザーとその仲間達との出会いを大切にしたいと思っています。

クルー： 金子ルミ（7回目）

目標・抱負： 年齢を重ねるにつれ、体力が思うようになりませんが、パワー溢れるオーストラリアン達の元気をいただきに行きます。心は一期一会、体はレットイットビーです。

艇番号：2736

艇名：都（Miyako）



スキッパー： 池内 敏（初参加）

目標・抱負：

- ・もう重量コンビと言わせない(周りをもっとすごいはず)
- ・ケースは起こしません(私は英語がしゃべれません)
- ・ウィスカーをなくさない(ここ最近で2本買いました)
- ・勝負は強風!(やっぱりヨットは強風でしょう!でもみんな速いんだろうな...)

あげればきりないですが、会社で机がなくなるかもしれない覚悟で参加している大会だけに、精一杯がんばり、楽しんできます!

クルー： 米倉和宏（初参加）

目標・抱負： 初めての海外でのレースの為、なんだか珍道中になりそうな予感がしています。私の会社では、ヨットというものを知らない人ばかりなので「ワールドに出ます」といったら、壮行会やらなんだかんだで、大変なことになってます。減量も順調に進み、現在71キロ。合わせておそらく137キロでしょう。10位以内に入って、胸をはって日本に帰って来たいと思っています。



艇番号：2709

艇名：09 Magic



スキッパー： 宮下知之（5回目）

クルー： 金築裕文（初参加）

目標・抱負： 浜名湖以来のワールド参加になります。がんばりたいと思います。今回は家族と一緒にの旅行でもあるので、楽しいワールドにしたいと思っています。

【会費納入のお願い】

2005年度分の会費はお早めに下記までお振込みください。

2005年7月4日より振込口座の店番号が変わります！

2005年度会費

(2006年3月末迄有効)

振込先:

東京三菱銀行

返子出張所 (店番628) 7/4より

普通 0495369

日本テザー協会 小松 充

(振込み依頼人名は必ず会員本人のお名前をお願いいたします)

年会費:

個人会員 5,000円

個人3年会員 14,000円

家族会員 3,000円

< 会費納入についての問合せ先 >

会計 小松

メール: kaikei@tasarjapan.org

【住所変更について】

住所等の登録事項に変更がありましたら、下記国内事務局までご連絡ください。協会 website でも住所変更用フォームが利用可能です。

【入会のご案内】

一緒にテザーを楽しみませんか? 日本テザー協会では随時入会を受付けています。入会をご希望の方は、メールフォームまたは所定の申込用紙にてご連絡の上、左記口座に会費をお振込みください。振込が確認された時点で登録とさせていただきます。

ご不明な点は国内事務局までお問合せください。

< 新規入会及び住所変更用フォーム >

<http://tasarjapan.org/membership/registration.html>

< 会員登録についての問合せ先 >

国内事務局 山床

メール: info@tasarjapan.org

【JSAFの登録について】

JSAF(日本セーリング連盟)の2005年度の会員登録も受付中です。JSAFへの加入は全日本選手権の出場資格となります。登録ご希望の方は下記までお申込みください。別途ウェブサイトでもご案内します。

< JSAF 登録の申込み先 >

稲毛フリースト 田中 紀子

メール: CXE02725@nifty.com

FAX: 043-211-7535

【TasarNews】ではみなさんからの便りを募集中です。フリートレースの結果やローカルイベントのレポート、セールトリップの報告、新しいメンバーの紹介やニュースなど、皆さんの身近なテザーライフをご紹介ください。また、TasarNewsに関する感想やご意見も合わせてお寄せください。楽しいお便りをお待ちしています。

JTA 広報チーム

mail: publicity@tasarjapan.org
まで

Tasar News Vol.83

2005年7月発行

日本テザー協会

代表 本吉謙治

〒107-0062

東京都港区南青山3-3-10-102

Edit/Design

Sumiko Ishimaru

Staff

Makoto Oka

Mahoro Sekiguchi

Contact

事務局

info@tasarjapan.org

イベント

event@tasarjapan.org

メジャー

measurer@tasarjapan.org

会計

kaikei@tasarjapan.org

広報

publicity@tasarjapan.org

編集後記

Editor's Note

6月は環境月間でした。1972年6月5日ストックホルムで初めて開催された国連人間環境会議を記念して環境基本法の中で定められたそうです。ご存知のとおり、今年2月には地球温暖化防止の施策として京都議定書が発効し、日本は2008年から2012年の間に温室効果ガスを1990年比で6%削減することが義務付けられました! さあ、これはタイヘン! ということで私は【チーム・マイナス6%】に参加しました。民生部門でのCO₂削減協力を啓蒙し、ひとりひとりができる具体的なアクションを唱えて行こうという草の根運動です。セーラーはやっぱり、Nature-Friendlyでいたいですからね。

野菜は八百屋さん、魚は魚屋さんで買えばプラスチックトレイは不要だし、割り箸、紙コップ、ペットボトル飲料もホントは必要ありませんね。夏になれば荷物も少なくなるので海へも

電車でGo! 渋滞知らずだし、あがったあとにはたっぷりビールも飲めるいいことづくめ?? わたしのチームメンバーは7,043。ちなみに1番は小泉首相、2番は小池環境大臣です。6月28日現在、会員は46,374人です。皆さんも参加しませんか?

<http://www.team-6.jp>



考えてみれば、ヨットって究極のエコスポーツですね。風だけでこれだけ楽しめるとは...

テザーのスプリングレガッタに初めて夫婦で参加しました。え? 結果?... (死んだフリ) せっかくの地元葉山のレースなので、ダメモトで出場を提案してみると、どう

いう風の吹き回しか出てもいいと言うのです。テーマは何をさておき「楽しく」。私としては、この小さなファミリーキャンペーンを成功に終わらせるため、おだてたり励ましたり応援したり? もう必死。楽しく気分良くレースできるように、コンパスやジブ裏見るよりも、ダンナ様の顔色ケアが最優先でした。ラダーが上がっているのもつゆ知らず「テザーのウェザーヘルムって、スゲー重くてもうダメだ~! 死ぬ~!」ふと見ると両手で舵持っていたり(笑) 友人にボートで並走され冷やかされたり(よりによって最後尾フリートを盛り上げている時に!) 穏やかな軽風シリーズだったのは幸いでしたが、散々な成績でげっそり落ち込むかと思いきや、ケンカもせず終わってみると意外にも、楽しく気分すっきり! 家族でディンギーレースというのもケッコウ楽しいもんですね。う~ん、再発見。(Ishimaru)